



# 近森病院からの ホットライン

命を救う。命をつなぐ。  
CHIKAMORI  
HEALTHCARE GROUP  
近森病院

2021.11 Vol.213

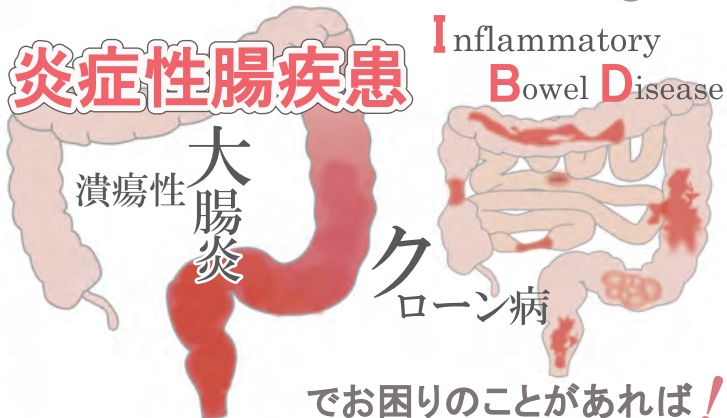
発行：近森病院地域医療連携センター



## 消化器内科

たしま もゆ  
田島 萌夢

かかりつけ医の先生方へ  
地域医療連携センターより  
消化器内科 医師のご紹介

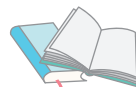


でお困りのことがあれば！  
いつでも ご連絡をお待ちしております

- 経歴**
- 2014年 高知大学卒業（高知県出身）
  - 2014年 近森病院にて2年間臨床研修後 消化器内科へ
  - 2020年 北里大学北里研究所病院への国内留学
  - 2021年 近森病院着任

**専門分野** 消化器一般（特に炎症性腸疾患）

**趣味** 旅行、お菓子作り、読書など



2020年12月から2021年3月まで東京の北里研究所病院にて、炎症性腸疾患（Inflammatory Bowel Disease：IBD）を勉強してまいりました、田島 萌夢と申します。北里研究所病院では、安倍元首相の主治医を務めていた日比紀文先生をトップに、医師・看護師・栄養士・薬剤師とチームでIBD診療に日々取り組んでいました。そのIBDセンターは日本のIBDの最先端、かつ患者さんに最善・最適な治療を提供できるように日々研究、知識のupdateを行っており、IBDについて勉強するにあたっては最適な病院であったと思われまます。また、北里では病気の治療だけではなく、患者さんの生活に寄り添いIBDを「難病だから生活に不便があつてしかたない」と考えるのではなく、個性ととらえ、できる限り普通の人と同じように生活できるようにきめ細やかな支援を行ってまいりました。その精神を学び、知識を身に付けて帰ってきましたので、高知のIBD診療において尽力していきたいと思ひます。



### 主任部長

さかえだ ひろし

栄枝 弘司

1982年  
浜松医科大学  
卒業

日本消化器病学会・指導医  
日本消化器内視鏡学会  
消化器内視鏡指導医  
日本内科学会・認定内科医・指導医  
日本内科学会・四国支部評議員  
高知大学医学部臨床教授  
医学博士

### 消化器内科

へのご紹介は…

	月	火	水	木	金
午前	梅下 田村	岡田	栄枝 田島	青野 大川	栄枝 北岡
午後	青野	矢野	市川		岡田

女性のための女性医師による内視鏡検査の  
詳細については下記QRコードをご覧ください



088-822-5231 (代)

【緊急の紹介受診について】

⇒ E R救命救急センターへ おつなぎします

【翌日以降の紹介予約について】

⇒ 地域医療連携センターへ おつなぎします

【共同機器利用の予約について】

⇒ 近森病院画像診断部へ おつなぎします

※混雑状況によりお待たせする場合がございます。何卒ご了承ください。

# 炎症性腸疾患

高知県  
では  
【令和元年】

特定医療費（指定難病）  
受給者証所持者数

クローン病 … 236人  
潰瘍性大腸炎 … 519人

難病申請されていない軽症例や  
診断されていない症例を合わせると  
この人数より、もっと多く存在している  
と思われます。



これって  
もしかして？



お気軽にお声掛けください。  
撮像させて  
いただきますので

## 画像検査だけでも

・クローン病をフォローしているが  
小腸の画像フォローをしばらく  
していない、見ていないとき

## 地域の先生方へ

・潰瘍性大腸炎やクローン病で  
診断に迷った症例や治療方針に  
難渋している症例

炎症性腸疾患は、慢性疾患であり長期間にわたって治療が必要となる方がほとんどです。好発年齢においても10~30代と若い世代の方が多く学業や仕事、ライフプランに支障をきたすことを心配している方も多いかと思われます。

治療におきましても、新薬の開発により治療の選択肢が幅広くなっており、特に生物学的製剤などはガイドライン上でも横一列で並んでおり、どの薬剤を使用したらいいか悩まれる場面は数多くあると思われます。当院では患者さんの病態はもちろんのこと、ライフスタイルや希望を聞きながら、薬剤の選択、効果判定、画像フォローを行い、できる限り発症前と同じような生活ができるようお手伝いさせていただいております。

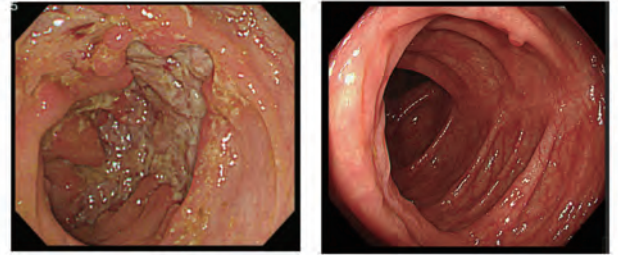


当院で  
使用している  
主な生物学的製剤

効能	製品名	潰瘍性大腸炎	クローン病
<b>抗TNF-α抗体製剤</b> TNF（炎症物質）を抑制する	レミケード® （インフリキシマブ）	○	○
	ヒュミラ® （アダリムマブ）	○	○
	シンボニー® （ゴリムマブ）	○	
<b>α4β7インテグリン抗体製剤</b> 白血球の腸への移動を抑制する	エンタイビオ® （ベドリズマブ）	○	○
<b>JAK阻害薬</b> 炎症物質が働く仕組みを抑制する	ゼルヤンツ® （トファチニブ）	○	
<b>IL-12/23p40抗体製剤</b> IL-12/23p40（炎症物質）を抑制する	ステララ® （ウステキヌマブ）	○	○

### 生物学的製剤により改善した症例

クローン病（20代男性）内視鏡画像



Before

After

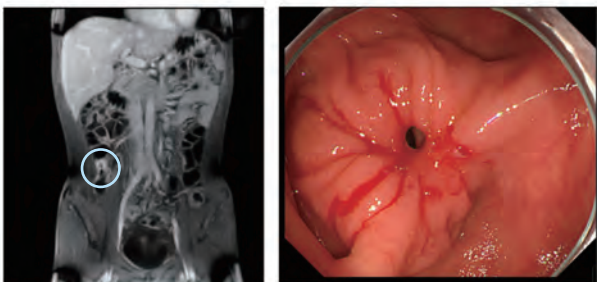
上行結腸に深掘れの潰瘍を認め、生物学的製剤を使用したところ著明に改善を認めた。

## MR enterography 最小限の負担で小腸の検査を!

クローン病においては、小腸病変のコントロールの可否は将来的な手術の有無、ひいてはQOLに大きくかかわってきます。当院では大腸・小腸内視鏡検査はもちろん、便中カルプロテクチン、小腸カプセル内視鏡、小腸造影、MR enterography など各種モダリティを使用し定期的に検査を行うことによって治療強化のタイミングを見逃さないようにフォローしています。

### MREにより狭窄を認めた症例

クローン病（30代男性）



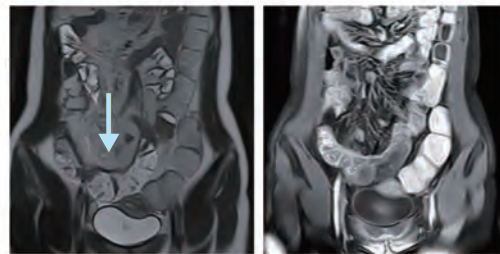
MRE

内視鏡画像

MREにて術後小腸吻合部の壁肥厚を認め、内視鏡検査を施行したところ周部位に狭窄所見を認めた。

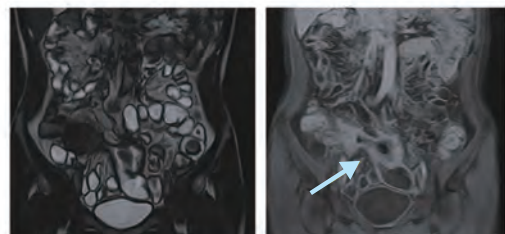
### — 特に MR enterography に関しては —

小腸造影や小腸内視鏡といった精神的・身体的に負担になるような検査を行わなくともクローン病に特有の小腸病変を発見でき得る検査であるにも関わらず、高知県の中でも撮像できる病院は限られています。



縦走潰瘍

下部回腸に腸間膜付着側の壁肥厚と増強効果が見られる。



瘻孔

遠位回腸の壁肥厚と、増強効果が見られ、S状結腸と癒着し、瘻孔が疑われる。

【出典】「クローン病 MR enterography (MRE) アトラス」Ⅲ、クローン病に特徴的なMR所見 / 厚生労働科学研究費補助金難治性疾患等政策研究事業 「難治性炎症性腸管障害に関する調査研究」(鈴木 2017年2月作成) <https://hdiapan.org/pdf/doc05.pdf>